

修学旅行（5月13日～15日）

【一日目】

5月13日から15日にかけて、3年生が修学旅行で沖縄を訪れました。梅雨入り後の沖縄のため天候が心配されましたが、到着時は晴天で、沖縄の海と空の青さを満喫できました。

ひめゆり平和祈念資料館で、ひめゆり学徒隊だった宮城さんについての講演を聴いた後、平和祈念資料館内の展示や手記等をじっくりと見学しました。

平和記念公園では、平和セレモニーを行いました。力強い平和の誓いや「HEIWA の鐘」の合唱の後、千羽鶴と花を捧げました。沖縄戦について学んできたことや平和の尊さについて考えてきたこと全てが生かされた誓いや歌声を聴いていて、みんなの想いは沖縄に眠る人々にしっかりと伝わったと感じました。

その後、アブチラガマ（糸数壕）を訪れ、ガイドさんの案内にしたがい、ガマ追体験をしました。暗いガマの中で、どのような出来事があったのか、どのような生活だったのかを聴き、当時の過酷な状況に思いを馳せました。

この日は沖縄の生活様式や文化に触れる民泊のため、入村式会場に移動し、入村式を行いました。人情味あふれる沖縄のおとう・おかあ・おじい・おばあに歓迎され、それぞれの宿泊先民家で沖縄の夜を満喫しました。



ひめゆりの塔にて



平和祈念資料館での講演



平和セレモニー



アブチラガマ（糸数壕）にて



入村式の様子

【二日目】

13日の夜から14日の午前中にかけては、それぞれの民家で沖縄の文化を体験したり、島内の観光地を訪れたりして、充実した時間を過ごしました。わずか一日という短い間でしたが、かけがえのない時間を共に過ごした沖縄の家族との忘れられない思い出ができ、退村式後のお別れの場面では涙する生徒も見られました。新たな出会いと別れを通して、また一つ成長したように感じました。

午後はマリン体験をしました。晴天とまではいかない曇り空でしたが、インストラクターの方によると暑さをしのげる最適な天候の下、バナナボートやシュノーケリング、浜遊びやビーチフラッグなど、沖縄の海を満喫しました。

夜はみんなでレクリエーションをして大いに盛り上がりました。沖縄に関するクイズやイントロクイズに加え、沖縄のことばを使ったビンゴ大会など、みんなで楽しいひと時を過ごしました。



サーターアンダギー作り



島内の観光地



退村式の様子



バナナボート



海辺でのひととき



レクリエーションの様子

【三日目】

15日の最終日も晴天に恵まれ、沖縄らしい青空の下、佐喜眞美術館を訪れました。屋上から普天間基地を望みながら、館の方から美術館設立の経緯や設計上の様々な工夫について説明を受けました。「沖縄戦の図」を目の前にして、館長さんからも絵に込められた思いや沖縄戦について講演をしていただきました。

嘉数高台に移動し、沖縄国際大学の学生ボランティアの案内で、普天間基地についての説明を聴きました。また、在籍されている大学の敷地内にヘリコプターが墜落した事故現場が保存されており、その現場を案内してもらいました。保存されている木や壁からは、事故を風化させない沖縄の人々の強い思いが伝わってきました。ボランティアでガイドをされている経験と専門に勉強されているだけあって、わかりやすいお話で、心に残る貴重な時間となりました。

午後には那覇市に移動し、県庁前の国際通りで班別行動をしました。班のみんなで昼食を食べたり、楽しくお土産を買ったりして、最後の沖縄を満喫しました。たくさんの観光客でにぎわう通りでしたが、迷子になったりトラブルになったりする班もなく、ルールを守ってよい思い出ができました。

3年生みんなとこの修学旅行にたずさわっていただいたすべての方のおかげで、実行委員会の立てた目標である「結花・シンカ・ゆいまーる」が見事に達成できた一生の思い出に残る修学旅行になりました。



佐喜眞美術館の屋上にて



嘉数高台での説明



沖縄国際大学内墜落事故現場



沖縄国際大学内墜落事故現場



那覇市国際通りでの判別行動

